

第1学年 国語科学習指導案

日時 平成17年10月14日(金)5校時
児童 男7名 女8名 計15名
指導者 小石 敦子

1 単元名 くらべてよもう
教材名 「じどう車くらべ」

2 単元について

(1) 児童観

1学期に実施した「いろいろなくちばし」の説明的文章では、「写真を見て想像し、問いかけと、その答えの順などを考えながら内容の大体を読むこと」「問いかけや生き物の説明などのまとまりを考えながら口形に気を付けて音読すること」を中心に学習した。説明的文章の基本文型である「問い」と「答え」を繰り返し読む過程をふんだ結果、教材文の読み取り後、多くの児童が「問いかけ」と「答え」の文型を意識した「生き物クイズ」を作ることができた。しかし、「答え」に続く「くちばしの使いみち」や「えさとのつながり」までを記述する文では、文のまとまりがよく分からず、文作りで戸惑った児童が少なくなかった。

そこで、本単元では、1学期の説明文の学習を受けて、読み取りの視点である「仕事」と「つくり」を常に意識させて学習を進めていくとともに、この二つのまとまりをつなぐ役割を果たしている接続語「そのために」を大切にしていきたい。また、「～は～しています。」「そのために、～あります。」「～います。」といった文型の表現に慣れさせ、文のまとまりを文末表現からも意識させていきたい。そして、本単元の最終ゴールである「好きな自動車お知らせ図鑑」を、どの児童も「仕事」と「つくり」に着目して作り上げることができるよう学習を進めていきたいと考える。

(2) 教材観

第1学年及び第2学年の「読むこと」の指導目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」である。また、本教材の中心となる指導事項は「3種類の自動車について、仕事とつくりの関係などを考えながら内容の大体をよむこと」「語や文としてのまとまりを考えながら音読すること」である。

1学期の「いろいろなくちばし」では、3種類の鳥のくちばしについて、説明的文章の基本文型「問いの文」と「答えの文」を意識させて音読したり視写したりする活動を通して、問いと答えの順などを考えながら内容の大体を読む学習を行った。

本教材の「じどう車くらべ」は、大きく四つのまとまりから構成されている。第1のまとまりは、話題と問題提起の部分として、自動車の「仕事」と「つくり」に目を向けさせ、自動車の機能と構造を関連付けて考えるように書かれている。第2～第4のまとまりは、バスや乗用車・トラック・クレーン車の「仕事」と「つくり」について説明されている。さらに、本教材を学習した後、はしご車について問題提起をし、発展学習につないでいる。

本教材は、児童にとって身近で興味深い「自動車」を取り上げている。ほとんどの家庭には自動車があり、また、乗るだけでなく絵本で見たりミニカーで遊んだりといった経験など、いろいろな形でなじみ深い物である。さらには、はじめのまとまりで、「仕事」と「つくり」の二つの読みの視点をはっきりと示していることで、児童は、「仕事」と「つくり」の関係を考えながら進んで内容を読み取ることができる教材であると考えられる。

(3) 指導観

単元の初めには、反復Aを行い、前単元の「いろいろなくちばし」で学習した説明文の読み取りの仕方を振り返り、学び方を確認した上で本単元に入る。

児童が目的意識や必要感をもって主体的に学習に取り組むことができるために、まず、単元の「つかむ」段階において、題名想起をさせる。題名の「じどう車くらべ」から考えられることを自由に発表させ、分類していく。特に「くらべる」の語句について、自動車の何を比べるのかについて考えさせたい。また、児童と一緒に単元計画を考え、学習後のゴールとして、自動車のよいところを見つけ「仕事」と「つくり」に着目した「好きな自動車お知らせ図鑑」を作ることを提案する。

「深める」段階においては、音読と視写を中心にしながら、バスと乗用車・トラック・クレーン車について、「仕事」と「つくり」を読み取らせていく。その際、「そのために」という接続語が「仕事」と「つくり」それぞれのまとまりをつなぐ役割を果たしていることを理解させる。一単位時間の中には「一人学び」の時間を設定し、自分の読み・主体的な読みを進めていきたい。また、一人学びの後の学び合いの場で、「今日のキーワード」を確認する。自己評価カードは、情意面と認知面について1つずつ丸を付ける形とともに、学習をしての感想について自分の言葉で振り返らせ、その評価が次の学習につながるようにさせたい。

「広げる」段階では、「好きな自動車お知らせ図鑑」に向けて、学習を進める。はしご車について全体の場で「仕事」と「つくり」についての説明文を作った後、それぞれ好きな自動車を選んで「お知らせ図鑑」を作る活動を行う。教材文の読み取りから図鑑作りまで、繰り返し「仕事」と「つくり」に着目させていきながら、最終的には児童が自分たちで図鑑作りができたという喜びを感じ取らせたい。

単元の最後には反復Bを行い、単元で培った力がどのくらい児童に身に付いているのかを把握し、次の指導に役立てていきたいと考える。

単元全体を通して個人カルテを用いる。これは、一単位時間毎の一人一人の評価を記入し、次時の指導へ生かすものであり、指導と評価の一体化につなげるものである。

3 単元目標

- (1) 自動車の「仕事」と「つくり」の関係に興味をもち、進んで教材文を読み取ったり、図鑑などを見たりしようとしている。(国語における関心・意欲・態度)
- (2) バスや乗用車・トラック・クレーン車について、「仕事」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読むことができる。(読むこと)
- (3) 語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読むことができる。(読むこと)
- (4) 乗り物などの本に興味をもち、探して読むことができる。(読むこと)
- (5) 「仕事」と「つくり」の順序を考えながら、好きな自動車の簡単な説明の文章を書くことができる。(書くこと)
- (6) 片仮名を正しく読み書きできるとともに、敬体の文章を書くことができる。(言語事項)

4 単元の指導と評価規準(11時間扱い)

過程	時	学習活動(指導内容)	評価規準 評価方法		
			「じどう車くらべ」	関心・意欲・態度	読むこと
つかむ	1	*反復A(読イ) ・前単元「いろいろなくちばし」を音読し、キーワードのを見つけ方を振り返り、学習掲示で確かめる。	・進んで前単元の振り返りに取り組んでいる。 観察・発言	・三つの鳥のくちばしの特徴を文章から見つけている。 観察・発言	・キーワードを押さえている。 観察・発言

つかむ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・題名想起をする。 ・全文を読み、感想をもつ。 ・新出漢字や片仮名の書き方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車に対する既有的知識を進んで発表しようとしている。 発言・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文について、もっと知りたいこと、疑問などを書いている。 発言・ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字や片仮名の書きを丁寧に練習している。 観察・ノート
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・問題提示について読み取り、学習の見通しをもつ。 ・学習のゴールが、自動車図鑑づくりであることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文学習後、自分で「自動車図鑑」をつくるということに関心をもとうとしている。 観察・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文の読みの視点(二つの課題)をつかんでいる。 教科書・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・文末表現から、問題文をとらえている。 教材文のサイドライン・発言
ふかめる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・バスと乗用車の仕事とつくりの関係を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスと乗用車の仕事とつくりについて進んで読み取るうとしている。 観察・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・バスと乗用車のよさを仕事とつくりに沿って見つけている。 サイドライン・プリント・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・「～は～しています。」「そのため～あります。」の文型をとらえている。 発言・プリント
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックの仕事とつくりの関係を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックの仕事とつくりについて進んで読み取るうとしている。 観察・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックのよさを仕事とつくりに沿って見つけている。 サイドライン・プリント・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・片仮名を正しく読み書きしている。 音読・プリント
	6 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の仕事とつくりの関係を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の仕事とつくりについて進んで読み取るうとしている。 観察・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車のよさを仕事とつくりに沿って見つけている。 サイドライン・プリント・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・「じょうぶな」「しっかりした」の言葉の意味を正しくとらえている。 プリント・発言
広げる	7	<ul style="list-style-type: none"> ・はしご車の仕事とつくりについて説明する文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はしご車の説明を進んで書こうとしている。 観察・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文を生かして、はしご車の説明文に取り組んでいる。 プリント・評価カード	<ul style="list-style-type: none"> ・「～は～しています。」「そのため～あります。」の文型をとらえている。 プリント

広 げ る	8 9	・乗り物の本などを読む。 ・教科書に出てこなかった自動車の中から、自分が好きな自動車を選んで、その説明文を書く。絵も合わせて図鑑をつくる。	・自分が好きな自動車を、図鑑カードに夢中で書いている。 図鑑カード・評価カード	・好きな自動車の情報を集め、簡単な組み立てを考えている。 図鑑カード・評価カード	・語と語や文と文の続き方を考えて敬体の文章を書いている。 図鑑カード
	10	・書いた「自動車図鑑」を読み合ったり、紹介したりする。	・自分が好きな自動車を進んで発表し、友達の発表をじっくり聴こうとしている。 観察・評価カード		・質問や感想を話すときに、敬体に気を付けながら話している。 発言・観察
	11	* 反復B（読イ） ・「様子を考えながら内容の大体を読む問題」に取り組む。	・学習したことを想起して、問題に取り組んでいる。 プリント	・仕事とつくりの関係をとらえている。 プリント	・「～は～しています。」「そのために～あります。」の文をとらえている。 プリント

5 本時の指導（ 6 / 11 ）

（1）授業の構想

単元の最終ゴール「好きな自動車お知らせ図鑑」を作るために、「仕事」と「つくり」に着目することで、事柄の順序を考えながら内容の大体を読む力を育てたい。

（2）目 標（本時のねらい）

クレーン車の「仕事」と「つくり」を読み取り、クレーン車のいいところを見つけることができる。

（3）展 開

一人学び

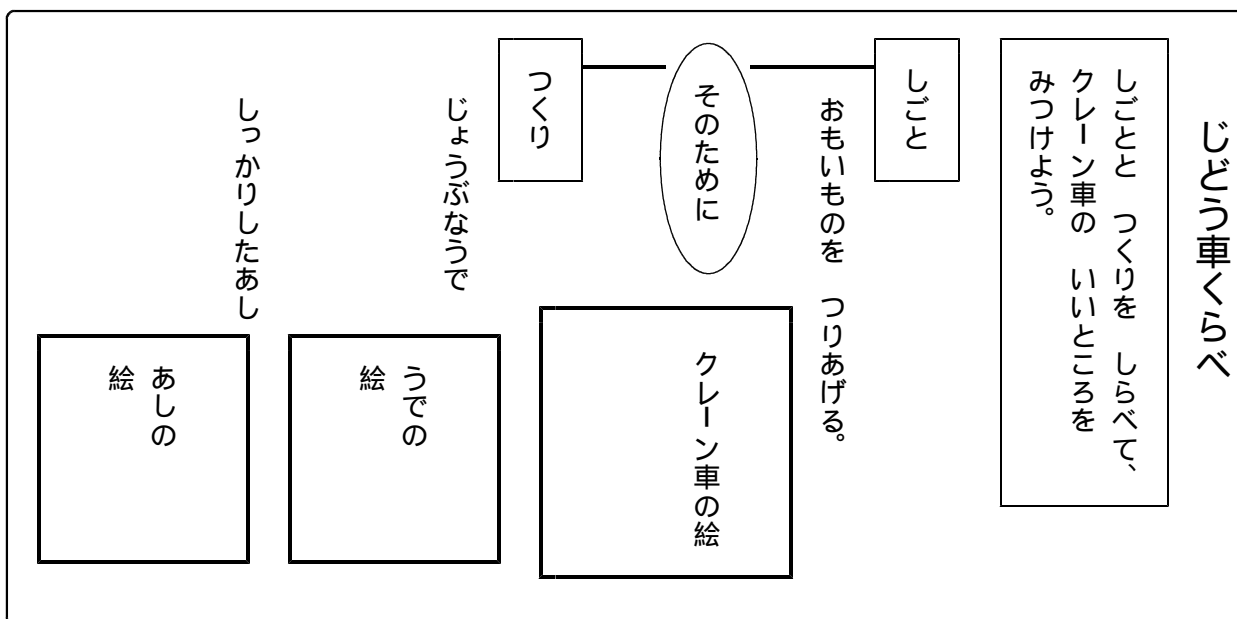
キーワード

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点（ 評価 ）＜評価方法＞
見 通 す 4 分	1 前時までの学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教室掲示をもとに、トラックの「仕事」と「つくり」について読み取ったことをおさえる。 ・学習課題は、単元の「つかむ」の段階でおさえているので、確認程度とする。 <p>学習課題がわかったか。 <観察></p>
	2 本時の学習課題をつかむ。 しごととつくりをしらべて、クレーン車のいいところを見つけよう。	
ふ か め る	3 本時の場面を音読する。 ・個人読みをする。 ・一斉読みをする。 ・指名読みをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・読みの視点として、「仕事」と「つくり」がどこに書いてあるのか、単元の「つかむ」段階でチェックした「仕事」と「そのために」をおさえながら読ませる。 ・読みの苦手な児童には、一緒について読む。

ふ	<p>4 クレーン車の「しごと」を読み取る。 (1)「しごと」について一人学びを行う。</p> <div data-bbox="264 286 783 412" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>クレーン車の「しごと」が書いてあるところに線を引きましょう。</p> </div> <p>(2)「しごと」について全体で確かめる。 ・おもいものをつりあげるしごと</p> <div data-bbox="264 533 783 618" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「おもいものをつりあげる」</p> </div>	<p>線を引くことができたか。 < 観察・挙手 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・線を引いたところを発表させ、全体で確認した後、プリントに視写する。 ・今日のキーワードの一つ目を、全体の場でおさえる。
	か	<p>5 クレーン車の「つくり」を読み取る。 (1)「つくり」について一人学びを行う。</p> <div data-bbox="264 779 783 904" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>クレーン車の「つくり」が書いてあるところに線を引きましょう。</p> </div>
36分		<p>(2)「つくり」について全体で確かめる。</p> <div data-bbox="264 1644 772 1769" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「じょうぶなうで」 「しっかりしたあし」</p> </div>

振り返る 5分	7 自己評価カードに、評価を記入し発表する。	楽しくできたか。 クレーン車のいいところを見つけられたか。 今日の感想が書けたか。 <p style="text-align: right;"><自己評価カード></p>
	8 次時の学習内容を知る。	・「はしご車」について「仕事」と「つくり」をまとめることを知らせる。

6 板書計画



7 自己評価カード

はしご車くわび

(顔の絵で、四段階を表現)

がくしゅうは、たのしかったですか。

(顔の絵で、四段階を表現)

クレーン車のいいところを
みつけられましたか。

(顔の絵で、四段階を表現)

がくしゅうをして わかったことを
かきましょ。

じどう車くらべ 個人カルテ

子ども像

名前

読み取ったこと(自動車の仕事とつくり)を生かして、他の自動車の簡単な説明の文を書ける。

実 態	<ul style="list-style-type: none"> ・車への関心 ・音読(正確に大きな声でよめる) ・文字を書くスピード ・作文 ・集中力 				
	初発の感想				
学 習 の 実 態	単元の評価規準表による 読むことにそった評価	評価		その他	
	キーワードを押さえている。(反復A)	A	B		C
	初発の感想をもつ。	A	B		C
	二つの課題をつかんでいる。	A	B		C
	バスと乗用車のよさを仕事とつくり にそって見つけている。	A	B		C
	トラックのよさを仕事とつくり にそって見つけている。	A	B		C
	クレーン車のよさを仕事とつくり にそって見つけている。	A	B		C
	はしご車の説明文を書く。	A	B		C
自分が紹介したい自動車を選び、仕事 とつくり にそって「自動車図鑑」を作 っている。	A	B	C		
単 元 終 了	<ul style="list-style-type: none"> ・「じどう車くらべ」単元テスト ・読みの確かめ(反復B) ・本や図鑑に関心をもって読んでいる。 	_____点	_____点	A B C	